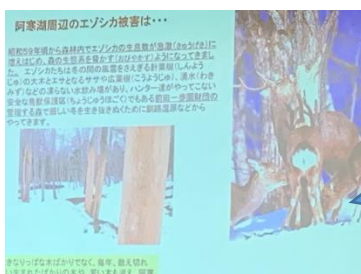


阿寒湖畔事前学習～6年生（10月27日）

6年生は、生き物と食べ物との関わりや食物連鎖など、自然環境について考える学習を行っています。この日は、阿寒湖畔でお世話になっている山本さんに来校いただき、エゾシカと阿寒の森の関係についてお話していただきました。



何と、北海道に生息する全てのエゾシカの半数近くが、道東地域にいるそうです。特に、阿寒の森はエゾシカにとって大変住みやすい環境であるようです。それはなぜでしょうか？



シカが木の皮を食べることにより、木の肌があらわになっています。こうした木は、水を吸い上げることができず死んでしまうそうです。

100年、200年と阿寒の森で生き続けた木々が、わずか一冬でどんどん枯れてしまうこと、中には、80%～90%が既に失われた木の種類もあることなどをお話してくださいました。これまで親しんできた森の危機、6年生のみなさんはどう感じたでしょうか？

11月に出かける阿寒湖畔自然体験活動では、森の木々にネット巻きをする体験を行う予定です。そのような作業の意味を考えることを通して、自然と人間とのよりよい関わりについて、自分なりの「意見」を構築してくれるよう期待しています。

学年懇談会（10月24日～）

学年懇談会へのご参加、ありがとうございます。

今回御都合がつかなかったご家庭の方も、お子様のことや学校のことなど、相談や困ったことがありましたら、いつでも遠慮なく学校にご連絡ください。



2年生、4年生の懇談会を実施しました。

動物園学習～1年生/その後（10月27日）

動物園で、見聞きしたこと、触れ合ったことを基に、図工の時間に「本物と同じ大きさの動物」をつくっている子供たちの様子です。キリンも、シロクマも、トラも、何人かで力を合わせて色を塗ってもぶつかり合わないくらい大きいですね。

動物園で見たことを思い出したり、本やiPadの動物の姿を見たりしながら、「色の感じは…」「体の形は…」「手足の長さは。太さは…」などと話し合いながら、1つの作品を創り上げていく様子が見られました。

動物園たちとの出会いが、五感を使った楽しい体験だったからこそ、国語や図工の学習へのつながりもまた、楽しいものとなります。

このような、教科をまたいでの学びも本校の特色の一つです。

学校に現れた「動物園」ぜひのぞいてみてください。

